

# 半導体漫遊記

## 湯之上隆

(357)

これまで世界半導体市場は、おおむね10年で2倍に成長してきた。1990年台に約750億ドルだった世界市場は、PCの普及により2000年台に1500億ドルになった。その後、インターネットの普及によって10年台に約3千億ドルに成長した。そして20年台にはChatGPTなどの生成AI(人工知能)効果により、6千億ドルを超える見通しである。

さらに今後もAIがけん引することによって、世界半導体市場は30年台に1兆ドルを超え、32年には1兆2千億ドルになると予測されている。このように世界半導体市場は、これまでも、これから「10年で2倍」の割合で成長していく可能性が高い。

そして「10年で2倍」の法則が今後も続くとする

と、世界半導体市場は42年

に

# 市場、10年で2倍に成長

## 29年、シンギュラリティーか

き、後にノーベル賞を受賞する研究者を含めて『あと100年をはかるはずだ』と誰も賛同しなかった」と述べたという(日経新聞11月23日)。

知能を持つ」と予測するとともに、「(AIの)技術の進化が全く新しい局面に入りつつある」との認識を示し、「今や『シンギュラリティー』が(2029年)と

に2兆4千億ドルになり、52年には現在の約6倍の4兆8千億ドルに膨れ上がることになる。

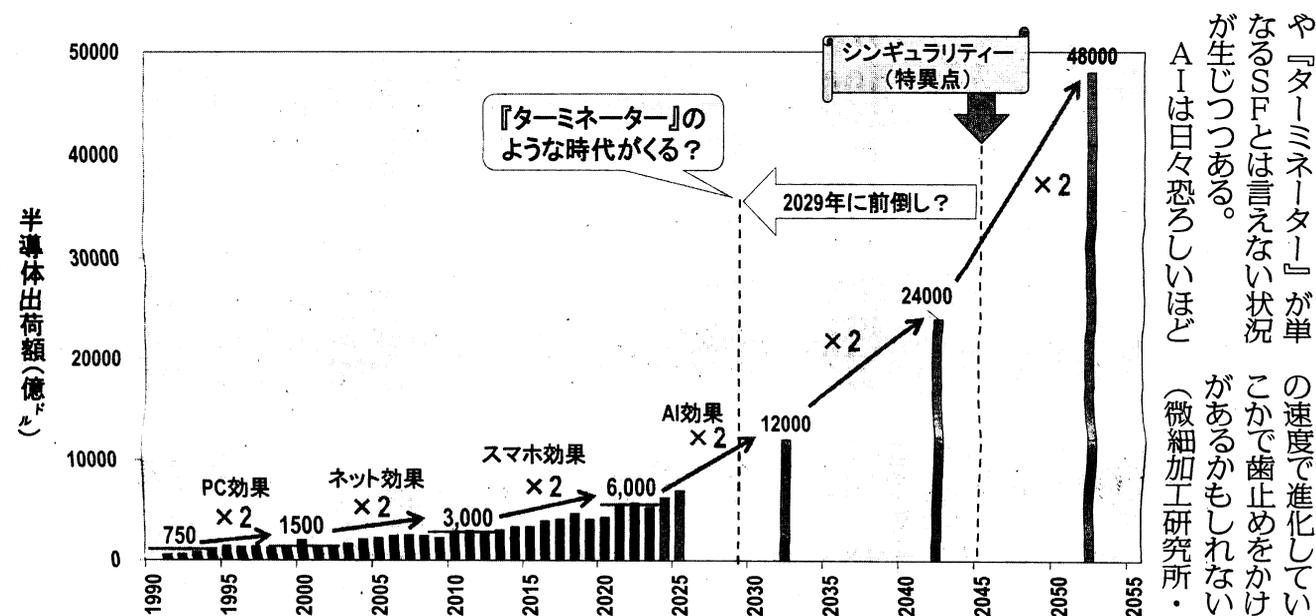
そのとき世界は、どうなるのだろうか？

米国の発明家のレイ・カーツワイル氏は、07年に出版した『ポスト・ヒューマン誕生』(NHK出版)において「2045年にAIの知能が全人類を上回るシンギュラリティー(特異点)が到来する」ことを予測した。これは「AIの2045年問題」として大きな議論を呼んだ。

た

だ

だ



「10年で2倍」に成長する世界半導体市場

出所:WSTSのデータおよび筆者予測を基に作成

や『ターミネーター』が単なるSFとは言えない状況が生じつつある。AIは日々恐ろしいほど

の速度で進化している。どこかで歯止めをかける必要があるかもしれない。(微細加工研究所・所長)